

山県市重要無形民俗文化財 舞台公演会・体験会

市指定重要無形民俗文化財が披露される舞台公演会と、来場者が民俗文化財を支える太鼓に触れ、花立てや竜回しなどを実際に体験できるといった、地域の文化を直接感じることでできる体験会を開催します。それぞれの文化財を守る保存会をはじめ、伊自良北小学校・南小学校の児童も出演します。

地域の人たちの想いや歴史が息づく伝統の数々を、ぜひこの機会に体感してください。

図生涯学習課文化財調査室 TEL32-9008

日時

2月22日(日)
公演会13時～15時35分(受付12時30分～)
体験会15時35分～16時15分

※時間は前後する場合があります。

場所

美山コミュニティセンター
(山県市岩佐1177-1)

▶内 容 市内の無形民俗文化財を披露する公演と体験会

- ・葛原太鼓踊り
- ・柿野獅子神楽
- ・北山雨乞い太鼓・雨乞い踊り
- ・立華
- ・伊自良十六拍子
- ・乾音頭(映像のみ)

▶参 加 料 無料

▶申し込み 事前申込不要

▶定 員 なし



▲前回の体験会の様子



▲丸に立ち笹竜胆文



▲大倉神社の祭礼

一 連 載

「先人から次世代へつなぐ」
わがまちの
歴史再発見

24
市重要無形民俗文化財
葛原太鼓踊り

2月22日に山県市重要無形民俗文化財舞台公演会を開催します。そこで披露される文化財を紹介します。
図生涯学習課文化財調査室 TEL32-9008

美山地域の葛原地区には、葛原太鼓踊りが伝わっています。葛原太鼓踊りは集落ごとのさまざまな民俗行事や神社の祭礼で行われています。現在は「渡り拍子」「踊り拍子」「十六拍子」「送り拍子」の4曲が伝わっており、踊り拍子のみ歌を伴う曲です。別名「雨乞い拍子」とも呼ばれ、輪を描いて反時計回りでゆっくり進みながら踊ります。

葛原全域の鎮守である篠座神社や大倉神社の祭礼で奉納する際、太鼓に「丸に立ち笹竜胆文」を描いた前垂れを付けますが、この文様は葛原地区の紋章として広く用いられました。現在は葛原太鼓踊り保存会が奉納していますが、かつては12の集落全てが太鼓を持ち寄り合同で奉納していました。保存会結成以前は集落ごとの伝承でしたが、それぞれの演奏の差異がなく伝承されたのは、両神社への合同奉納が毎年行われたことによるものと考えられます。

葛原地区に伝わる貴重な民俗文化財に皆さんも触れてみませんか。興味がある人は問い合わせてください。

岐阜県指定重要文化財 十五社神社本殿 現地見学会

大桑地区にある十五社神社は、本殿が岐阜県指定重要文化財(建造物)です。元禄14年(1701年)に建てられた本殿は、経年劣化や湿気などで汚れていたため、令和7年に本殿の汚れを落とすとともに色の劣化を抑え、剥がれた彫刻を接着する修理などを実施しました。修理完成を記念し、通常近くでは見ることのできない本殿の現地見学会を行います。

見学会では、名古屋工業大学の名誉教授である麓和善氏(建築学)のほか、修理などに携わった人による解説を聞くことができます。

生涯学習課文化財調査室 TEL32-9008

日時 2月28日(土)
13時～15時30分(受付12時30分～)

場所 十五社神社
(大桑2281番地1)

- ▶ **内容** 本殿構造の解説、修理内容の解説、3Dモデルの紹介 など
- ▶ **参加料** 無料
- ▶ **申し込み** 事前申込不要
- ▶ **定員** なし
- ▶ **駐車場** 十五社神社駐車場のほか、南泉寺(大桑2358-2)境内の駐車場も利用できます。当日は係の案内に従って利用してください。



▲十五社神社本殿

市総合体育館のトレーニングジムに
AIカメラと生体認証・入退室管理システムを導入

市総合体育館 TEL 22-6622 051754

○AIカメラ

リアルタイムで混雑状況を配信

AIカメラがリアルタイムでジム室内の混雑状況を毎分集計し、専用サイトで公開します。利用者は専用サイトから混雑状況を把握でき、効率的にジムを利用できます。



▲混雑状況配信例

AIカメラによる異常検知と危機管理

AIカメラが倒れている人や動かない人を検知し、リアルタイムで職員に通知します。これにより安全安心な環境が提供できるようになります。

○生体認証・入退室管理システム
生体認証による入退室管理

1階の事務室で入会手続きをすれば、2回目以降は顔認証で入室することができます。また、顔認証の入室ができない場合は、スマホのアプリで入室することができます。



▲混雑状況配信

入会手続き

STEP 1

市総合体育館1階事務室で、顔認証の登録など入会手続きをする

スマホを持っている

スマホを持っていない

STEP 2

会員アプリをインストールし、設定を行う

STEP 2

会員証を発行する

ジム利用方法

STEP 1

1階事務室で利用料の支払い・回数券の処理をする

STEP 2

2階ジム室前のタブレット端末で顔認証をする(顔認証できない場合は、アプリで認証)

STEP 3

自動で開錠、トレーニング開始

